



喜多埜

歯神社例祭のご案内

来月四日は当神社の末社である歯神社の例祭日です。この歯神社は小さなホコラのようなお社で、御本社と御旅所のちょうど中間である大阪市北区角田町二番八号の地に御鎮座されておられます。御由緒は江戸時代に、梅田一帯までもが水没しそうな淀川の氾濫があった時、この歯神社の御神体である**巨石**がその水の流れを歯止めし、水没から梅田の街を守った事から**歯止めの神さま**として慕われ、音韻が通じるのを以って歯の守り神さま「**歯神社**」と呼ばれ、今では全国の歯に悩む方々から崇敬を聚めるお社として知られています。**六月四日当日は午前十一時より歯神社前にて祭典**があり、終了後（十一時半頃）に歯ブラシの授与がございます。例年、多くの参拝者で一杯になりますので歯ブラシは数十分でなくなりまます。数に限りが御座いますので授与をご希望の方は**お早めにお越し下さい**。

場所はHEP FIVEの赤い観覧車の裏手、ユニクロ梅田店の横になります。

皐月の話

皐月は、耕作を意味する古語「さ」から、稲作の月として「さつき」になったとされ、漢字「皐」には、「神に捧げる稲」という意味があるため、皐月が当てられたといわれています。植物のサツキは、「五月に咲くツツジ」という意味から、「サッキツツジ」と呼ばれ、略して「サツキ」というようになったそうです。この花が咲くともう夏の到来ですね。

歯ブラシ無料授与に

関する大事なお知らせ

今年の歯ブラシ無料授与は、年々増える参拝者に伴い、歯ブラシのご用意にも限りが見えて参り、かかる時勢の流れも鑑み、無料授与は先着二百組までとさせていただきます。

それ以降の方で、どうしても歯ブラシの授与をご希望の方には、初穂料をお納め頂く形の授与品として別途歯ブラシをご用意致しております。こちらも併せてどうぞ。

福知山線脱線事故に思う

死者百名近く（先月執筆時点）を出し、近年まれに見る大惨事となった脱線事故。原因について多くの憶測が飛び交っておりますが、今回の事で「死」というものは常に「生」の隣にあるのだという事を私たちに、まざまざと見せつけました。しかし、何気ない日常が大惨事になる裏には、今回の事故のようにミスを隠したり、安全より時間優先といった、心のどこかに**負い目を感じながらも目先に囚われ押し通した**、小さな「負」の積み重ねがあるのではないのでしょうか。心にも無い事を続けるといふ事はどこかで何らかの形で返って来てしまうものです。しかし、亡くなられた方々は返っては来られません。ただ、ご冥福をお祈りするばかりです。

携帯サイトは左のQRコードからご覧下さい

ドコモ、ポータフォン
対応確認済み。



編著 網敷天神社 禰宜（神主）

白江 秀知

